

# 国語科 中学校 1年

単元名 視野を広げる  
「クジラたちの声」  
光村図書「国語1」

## 単元の流れ（全6時間）

### 【第1次】

#### 主な学習内容

◇第1時 通読して、おおまかに内容を把握する。事実と意見の違いに着目し、論の進め方を理解する。  
二つの「問い」に注目する。

### 【第2次】

#### 主な学習内容

◇第2時 言葉の働き（接続語や文末表現）に着目し、段落の関係を考え、要約する。

説明的な表現の一例

CLICK

### 【第3次】

#### 主な学習内容

◇第3時 個人の要約をグループで発表し、グループで図にまとめる。（接続語の働き、問題提起に着目する。）（本時）

生徒作品例はこちら

CLICK

#### 「活用」の力育成のために

話合いの中で、相手を意識して自分の考えを表現するとともに、互いの考えを聞く姿勢を育てる。

### 【第4次】

#### 主な学習内容

◇第4時 グループ作品を相互に評価する。（見やすい工夫を知る。）  
次時に向けて題材の整理をする。

#### 「活用」の力育成のために

文章作成過程（書く手順）を意識して文章を作成することで、「知識・技能」を「活用」するための道筋を明確にする。

### 【第5次】

#### 主な学習内容

◇第5時 コミュニケーションの意味を理解し、事実をもとにした意見文を書くための材料を集める。  
◇第6時 事実をもとにした意見文を書く。

#### 単元目標

- 文章の構成をとらえ、筆者の考えと、それを補強する具体的な事例を正確に読み取る。
- 事実と意見の関係を意識した意見文を書く。

#### 単元構成の意図

文章作成過程（文章を書く手順）に即して指導過程を構成する。ここでは、説明文の「構成」をとらえ、「記述」に生かすこととする。

書くことを中心とした指導過程

CLICK

文章作成過程

CLICK

#### 「活用」の力を育てるポイント

- ①キーワードに線を引き、プリントに要約を書くことで文章の構成をつかませる。
- ②相手を意識して自分の考えを表現させる機会を確保する。
- ③話合いをさせることにより、互いの考えを聞く姿勢を育て、その中で多面的に思考する力を育成する。
- ④本時の目標を明確にし、学習事項について書いて振り返らせる時間を確保する。
- ⑤文章作成過程を意識して文章を作成させることで、「知識・技能」を「活用」するための道筋を明確にする。

評価問題

CLICK



HOME

本時の流れへ